

生存科学 VOLUME 30-2 MARCH 2020

目次

特集=バイオポリティックス

〈フォーラム〉

バイオポリティックスと 21 世紀科学技術文明 石井 威望 3

〈論文〉

バイオポリティックスとしての現代公衆衛生とその歯止めとしての

「公衆衛生倫理」

—「生存の理法」の新たな展開を求めて— 松田 正己ほか 9

気候変動適応における人間社会とテクノロジー

—SDGs とレジリエンスアプローチの視点から— 清水 美香 31

医療事故対策から始まった日本の医療安全の歴史 中島 勸 49

〈フォーラム〉

要介護率の動向と日独比較 府川 哲夫 59

自主研究事業

〈論文〉

日本における最晩年期高齢者の〈生き方〉の一側面

—「新老人の会」の調査を踏まえて— 鶴若 麻理ほか 69

介護施設におけるコミュニケーションロボットの活用状況と活用上の

課題

—インタビューを通して— 松浦真理子ほか 91

少子高齢化時代の都市型災害対策；

Health・Coexistence・Well-being を意識した社会基盤システムの

検討 坪内 暁子ほか 107

〈自主研究会報告〉

森のオントロジー

—もうひとつの森林観を育むために— 藤原 成一 123

〈研究ノート〉

自己保健義務支援システムの開発について 朝長 健太 135

*

書評

上田裕一・神谷恵子編著

『患者安全への提言 群大病院医療事故調査から学ぶ』

(生存科学叢書, 日本評論社) 青木 清 141

編集後記

「生存科学」投稿規定